## 加工施設

## ) 放射性固体廃棄物

施設名		低レベル放射性固体廃棄物 (本)		合計	貯蔵設備 容量	
成故古		ドラム缶 (200¦兆)	その他の種類 (本相当)*1	(本相当)*1	☆里 (本相当)	
(株)グローバル・ ニュークリア・フュエル・ ジャパン	前年度末の保管量	16, 627	2, 580	19, 207		
	当該年度の発生量	61	17	78		
	当該年度の減少量	8	35	43	24, 800	
	年度末の保管量	16, 680	2, 561	19, 241		
三菱原子燃料(株)	前年度末の保管量	9, 539	606	10, 145		
	当該年度の発生量	476	67	543		
	当該年度の減少量	447	67	514	11, 600	
	年度末の保管量	9, 568	606	10, 174		
原子燃料工業(株) 東海事業所	前年度末の保管量	5, 448	821	6, 269		
	当該年度の発生量	125	27	152		
	当該年度の減少量	1	38	39	8, 500	
	年度末の保管量	5, 572	810	6, 382		
原子燃料工業(株) 熊取事業所	前年度末の保管量	7, 939	425	8, 364		
	当該年度の発生量	128	8	136		
	当該年度の減少量	11	24	35	11, 520	
	年度末の保管量	8, 056	409	8, 465		
	前年度末の保管量	544	56	600		
日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	11	0	11		
ウラン濃縮原型プラント	当該年度の減少量	0	0	0	800	1
	年度末の保管量	555	56	611		
	前年度末の保管量	(368) 5, 987	2, 192	8, 225		*3
日本原燃(株)	当該年度の発生量	(8) 1,612	32	1, 645		*3
濃縮・埋設事業所	当該年度の減少量	(0) 0	0	0	16, 900	
(加工施設)	年度末の保管量	(376) 7,599	2, 224	9, 870	•	

## ) その他放射性廃棄物

施 設 名		低レベル放射性 液体廃棄物 (m³)	貯蔵設備 容量 (m³)	放射性 気体廃棄物 (80kgボンベ 換算(本))	貯蔵設備 容量 (本)
(株)グローバル・	当該年度の発生量	0.00			
ニュークリア・フュエル・	当該年度の減少量	0.00	0.6		
ジャパン	年度末の保管量	0.15			
三菱原子燃料(株)	当該年度の発生量	0.00			
	当該年度の減少量	0.00	3		
	年度末の保管量	1.78			
原子燃料工業(株)	当該年度の発生量	0.20		/	
東海事業所	当該年度の減少量	0.10	9.60		
	年度末の保管量	5.55			
原子燃料工業(株)	当該年度の発生量	0.0			
熊取事業所	当該年度の減少量	0.0	20.0		
	年度末の保管量	13.4			
日本原子力研究開発機構	当該年度の発生量	0.141			
ウラン濃縮原型プラント	当該年度の減少量	0.00	0.226		
	年度末の保管量	0.141			
日本原燃(株)	当該年度の発生量	0.28		0	
濃縮・埋設事業所	当該年度の減少量	0.00	6.10	0	27
(加工施設)	年度末の保管量	3.79		0	

\*30: ( )は20パドラム缶。合計は、20パドラム缶8本あたりを200パドラム缶1本分とし、端数については切り上げて計上した。

\*31: この他に平成22年度に低レベル固体廃棄物として発生した75tSWU/y相当分の使用済金属胴遠心機を保管している。